

げんき広場

GENKI HIROBA



NO. 60
平成27年 7月発行

◎編集・発行 長崎県教育庁総務課 〒850-8570 長崎市江戸町2番13号 TEL095-894-3314(ダイヤルイン)

長崎県教育委員会

検索

地域による子どもたちへの学習支援「土曜学習」の取組

1

土曜学習の目的

学校、家庭、地域が連携し、役割分担しながら、地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の協力により、体系的・継続的な教育プログラムを企画・実施し、子どもたちの土曜日等の休日における教育環境を豊かなものにしていくことを目的としています。

2

「ながさき土曜学習推進事業」について

「夢・憧れ・志」を持った子どもの育成」を目標とし、県内各地の地域の人材や特色を生かした教育プログラムを、学校教育活動の教科等との関連を図りながら実施していきます。



事1例

諫早市「森山公民館子ども講座」

公民館を会場に、囲碁教室、スポーツ教室、和太鼓教室、科学体験教室を開催しています。子どもたちが参加したい教室を複数選択して、一つでも多くの体験ができるよう、時間割形式で活動しています。地域の専門家や指導者、教職員OBが講師を務めています。



事2例

雲仙市「あつまるんば子どもクラブ」

地域で活躍する様々な専門家や指導者が講師となり、囲碁教室、将棋教室、絵画教室、華道、茶道、民踊、音楽、料理教室を開催しています。様々な学びや体験を通して、地域の大人や校区を越えた児童との交流を行い、豊かな人間関係を築き活動しています。



事3例

長与町「小学生の楽しく学ぼう英会話」

町内在住のALTの先生が講師となり、大学生ボランティアと一緒に歌やゲームを中心に英語に慣れ親しむ活動を行い、外国の文化を楽しく学んでいます。



「高校生の離島留学制度」

●対馬高校「国際文化交流コース」

韓国の言葉や歴史・文化について専門的に学び、韓国の人々との交流を通して異文化を理解し、国際社会に貢献できる人材を育てています。



●壱岐高校「東アジア歴史・中国語コース」

大陸との交流の歴史や考古学、中国の言語や文化を学び、中国と本島の架け橋となり、国際的に活躍できる人材を育てています。



●五島高校「スポーツコース」

「陸上」「柔道」「剣道」の技能を伸ばし競技者として活躍する、または将来指導者として競技やスポーツ全般に携わる人材を育てています。



離島の高校で、新しい自分を発見し、まだ見ぬ可能性を発掘してみませんか？

平成28年度生徒募集
校区外から志願可能
寮・下宿あり

【体験入学実施】

- 対馬高校 8月21日(金)
- 五島高校 8月23日(日)
- 壱岐高校 8月29日(土)

※体験入学についての詳細はHPでもご覧いただけます。

◎問い合わせ先

教育庁高校教育課(高比良、竹之内)
【電話】095-894-3354
(ダイヤルイン)



子どもたちによるボランティア活動～人の役に立つために～

県内には、様々なボランティア活動に取り組んでいる学校がたくさんあります。今回は「JRC」加盟校として、ボランティア活動に取り組んでいる3校を紹介します。

●時津町立時津小学校



- ◎リングプルやペットボトルキャップの収集
- ◎カンボジア支援活動(募金や衣類収集)

●佐世保市立清水中学校



- ◎「福島ひまわり里親プロジェクト」
(東日本大震災復興の一助としての取組)

●県立清峰高等学校



- ◎高齢者施設への訪問
- ◎保育園への訪問

「JRC」って何？

- ◎「青少年赤十字(Junior Red Cross)」のことで、英名の頭文字をとった呼び名です。
- ◎JRCでは、「生命と健康を大切に(健康・安全)」「人間として社会のため、人のために尽くす責任を自覚し、実行する(奉仕)」
「広く世界の青少年を知り、仲よく助け合う精神を養う(国際理解・親善)」の3つを実践目標に掲げ、様々な取組を行っています。
- ◎JRC加盟校では、子どもたち自らが「気づき、考え、実行する」ことを大切にしながら、日々の活動に取り組んでいます。
- ◎長崎県及び長崎県教育委員会では、県内の学校のJRC加盟を推奨しています。

「JRC」に加盟するには？

- ◎日本赤十字社長崎県支部事業推進課に連絡し、登録申込票を提出するだけです。
- ※費用はかかりません。加盟すると、救急法、幼児安全法、水上安全法、高齢者疑似体験、災害時非常食体験など、日赤職員を講師に招いて(無償)、子どもたちが体験しながら学ぶ活動を行うこともできます。

JRC加盟校(園)数
※平成27年3月現在

校種	県内	全国
保育園	22	723
幼稚園	16	800
小学校	33	6541
中学校	30	3191
高等学校	21	1840
特別支援学校	0	99
合計	122 校(園)	13194 校(園)

特別支援教育の充実

1 特別支援学校の適正配置について

平成27年4月、鶴南特別支援学校時津分校と同五島分校、虹の原特別支援学校吉岐分校の3つの分校が開校しました。これまで長崎県では、特別支援学校が設置されていない地域に、小学校や高等学校等の施設を活用して特別支援学校の分教室を設置し、より身近な地域で特別支援学校の専門的な教育を受けられる環境を整えてきました。このたび、同一地区に小・中・高等部の分教室が設置された時津、吉岐、五島地区の分教室を分校とすることで、地域に密着した同年代の子ども同士の自然な交流やお互いを大切に支え合い成長できる教育の更なる充実と、小・中・高等部の一貫した魅力ある教育の充実を目指します。



2 小・中学校の特別支援教育について

小・中学校における障害のある児童生徒が特別に指導を受ける場として、特別支援学級や通級指導教室がありますが、そこで学ぶ児童生徒数が、平成16年度から10年間で約2.9倍と急増しています。これに伴い、全ての教職員の特別支援教育の専門性向上が求められています。県教育委員会では、「特別支援学級・通級指導教室担当者研修会」「特別支援教育スキルアップ研修会」「特別支援教育リーダー研修会」等の研修会を充実させ、小・中学校教員の特別支援教育の専門性向上を目指しています。



3 高等学校の特別支援教育について

「発達障害のある生徒が学びやすい学校づくり」をテーマとして、平成24～26年度の3年間、県内の高等学校3校で研究をすすめ、その結果、学習意欲の向上、出席率の向上、就職内定率の向上などの成果が見られました。その成果を「高等学校における特別支援教育ガイドブック～実践研究編～」としてまとめ県内の高等学校職員全員に配付しています。さらに、3校の研究結果の普及をねらいとして全公立高等学校を対象に平成27、28年度にかけて伝達研修会を実施し、高等学校の特別支援教育の充実を目指します。



4 特別支援学校のICT教育について

特別支援学校には、障害の状態や特性によって見ることや話すこと、書くこと等が困難な児童生徒がいます。平成25～27年度、諫早特別支援学校1校を実践研究校に指定し、タブレットPCや電子黒板等のICT機器の有効活用方法等について研究しています。ICT教育によって特別支援学校のより一層の授業力向上を目指します。



Webサイト「ながさき・たいけん・ねっと」

Webサイト「ながさき・たいけん・ねっと」では、県内のすばらしい自然・文化・歴史を活かしたさまざまな体験活動の情報が検索できます。県内の青少年教育施設をはじめ、登録している団体のさまざまな取組やイベントなどの情報を掲載していますので、ぜひ、アクセスください。この他、長崎県では、県内の子ども、親子を対象に、「しま」のよさを活かした体験活動を通してふるさと長崎県の再認識を図るために、【しまの魅力に出会う日本の宝「しま」交流支援事業】を実施しています。今年は、子どもコースを五島市と吉岐市で、親子コースを五島市と対馬市で実施予定です。（募集は既に締め切りました）



「長崎県埋蔵文化財センター」は、「東アジア考古学研究」をさらに進めます!

長崎県埋蔵文化財センターは、壱岐市立一支国(いきこく)博物館の中にあり、近くには国指定特別史跡「原の辻(はるのつじ)遺跡」があります。本センターでは、韓国や中国、日本国内の研究機関との連携交流を進め、研究を深めることで研究者の交流拠点となることを目指しています。

「魏志倭人伝の道」「海洋交流路」などをテーマに、原の辻遺跡の調査研究を中心とした東アジア考古学研究に取り組んでいます。原の辻遺跡からは東アジアの交流を物語る、国内最多の大陸系土器・国内最多種類の中国貨幣・国内最古のトンボ玉・東アジア最古の船着き場跡などがみつかっています。

釜山博物館(韓国)と協定書を締結・中国の研究機関との連携促進

本センターと韓国の釜山博物館は、本年5月に協定書を締結し、発掘調査など考古学の共同研究をスタートしました。また、中国の研究機関とも連携を進め、長崎県と東アジアの交流の歴史を明らかにしていきます。

東アジア国際シンポジウムの充実

「ロード・オブ・ザ・コイン—弥生時代中国貨幣からみる交流—」
 10月12日(月・祝) 14:00~16:30 長崎歴史文化博物館
 10月25日(日)・11月14日(土) 14:00~15:30 壱岐市立一支国博物館
 入場無料です。ぜひ、おこしください。

本年度の新しい取り組み紹介



昨年度のシンポジウム →

研究紀要や報告書を刊行し、成果を発信しています。また、教育支援事業「埋文MAIBUN学びのサポート」や壱岐高校東アジア歴史・中国語コース支援事業を通して、児童・生徒にも成果内容をわかりやすく伝えていきます。



埋文 MAIBUN 学びのサポート →

長崎県埋蔵文化財センター

検索

フェイスブックでも情報を発信しています。ぜひ、チェックしてみてください。

問い合わせ先 長崎県埋蔵文化財センター TEL:0920-45-4080 FAX:0920-45-4082



Dr.ハル

全国高総文祭(びわこ総文)が開催されます。

第39回全国高等学校総合文化祭が、7月28日(火)~8月1日(土)滋賀県にて開催され、本県代表の高校生が参加します。それに先立ち、7月12日(日)にはJR長崎駅かもめ広場にて「結団式」を行います。代表生徒が大会参加への意気込みを語るとともに、日頃の文化活動の成果を県民の皆さんに披露します。

日時/

平成27年

7月12日(日)

14:30~16:00

場所/

JR長崎駅
かもめ広場



昨年の結団式の様子

◎問い合わせ先 長崎県教育庁学芸文化課 TEL.095-894-3385

奨学のための給付金について

平成26年度と27年度に入学した市町村住民税所得割が非課税の世帯の高校生等を対象に、授業料以外の教育費負担を軽減するため、奨学のための給付金を支給します。

給付額
(返還不要)
について

- 国公立の場合 年額 32,300円 ~ 129,700円
- 私立の場合 年額 39,800円 ~ 138,000円
- 通信制の場合 年額 32,300円 ~ 52,600円

※県内の学校の高校生等は、学校を通じて申請してください。
 ※県外の学校の高校生等は、直接県へお問い合わせください。

平成27年度 第2回 県立長崎図書館講座

原爆70年:被爆者と地球市民の連帯

被爆者の健康被害の実態調査や、被爆者医療に携わってこられた朝長先生を講師にお迎えし、戦後70年目の今、私たちが考えなければならないことについてお話しいたします。

【講師】朝長万左男氏(日本赤十字社 長崎原爆病院名誉院長)

【日時】7月25日(土) 13:30~15:30

【場所】県立長崎図書館2階講堂 **入場無料 申込不要**

【問い合わせ先】県立長崎図書館 TEL:095-826-5257

亜熱帯植物園で「夏休みフェスタ」が開催されます。

待ちに待った夏休み。長崎県亜熱帯植物園では、いよいよ夏の人気イベント「夏休みフェスタ」が7月19日(日)から始まります。8月30日(日)までの期間中、土曜、日曜を中心に、たくさんのイベントを開催します。流木や松ぼっくりなどを使った「ナチュラルアート教室」は毎年、一番人気!夏休みの宿題にぴったりです。このほか、「学べるスタンプラリー」や「ガーデニング教室」など、親子で一緒に楽しめるイベントが満載!そして、今年の夏休みフェスタでは「食虫植物展」も開催!不思議な食虫植物の世界を見ることが出来ます。入園料は、大人300円、県内にお住まいの小・中・高生は無料です。夏の花が見ごろの植物園で皆さんをお待ちしています。



〈問い合わせ先〉

長崎県亜熱帯植物園

TEL:095-894-2050

<http://anettai.org/>

長崎市脇岬町833

国勢調査 2015

平成27年 国勢調査実施のお知らせ

ご協力をお願いします。



国内に居住するすべての人を対象とする国勢調査が、10月1日に実施されます。今回の調査より、パソコンやスマートフォンからインターネットによる回答も可能になります。9月中旬から、国勢調査調査員が全世帯を訪問し調査を行いますので、ご協力をお願いします。

切り取ってお使い下さい
入園割引券
 大人300円 → 250円
 ※券1枚につき1名までご利用いただけます。
 ※入園料の他に別途観覧料がかかります。
 有効期間
 平成27年
 8月30日まで